

授業者 ◎原永 裕規
池内 剛
米元 初美

1 単元名

友達に伝えよう

2 単元について

本学級には、1年生から6年生までの児童14名が、知的障害学級と自閉症・情緒障害学級にそれぞれ在籍している。人との関わりが好きで友達や教師に自分から話しかけたり積極的に会話をしようとしたりできる児童や、言葉の少なさや発語の曖昧さから相手に自分の話したいことを上手く伝えられない児童など実態は様々であり、学習の課題も幅広くある。そのため算数科、国語科では、児童の実態と目標に合わせた学習課題別のグループを設定している。また学校生活の場面にも合わせ、グループ分けを行っている。実態差が大きい学級集団ではあるが、個々の個性を認め合いながら、友達や教師と関わり合い日常生活に寄り添った学習を進めていきたいと考える。

本学級では普段の生活の中で多くの言葉や話し方に興味を持てるように、朝の時間を使い、詩の音読や読み聞かせを行ったり、帰りの会でのスピーチする場を設けたりして取り組んできた。しかし、どの活動も短い時間の中で行われるものであり、言葉や話し方を意識するという段階までいくことが難しかった。そこで本単元では、国語科の授業の中で具体物を取り扱う活動や動作化などを通して、日常生活の中で何気なく感じたり、使ったりする言葉を拾い、言葉の拡充を図りつつ言葉に対する興味、関心を育てていく。それと同時に、各グループの児童に応じた話し方の表現方法を学習していく。また、教師が作成した話し手、聞き手の姿勢についての動画を見て、よい話し方、聞き方を学習することで、お互いが話しやすく聞きやすい環境を作っていきたい。それにより、より活発な人との関わり合いができるようになる。と考える。

Aグループは、1年生、3年生、4年生、5年生が各1名の計4名で構成している。本グループの児童は、語彙が大変に少なく、日常生活で繰り返し使っている言葉はある程度理解し、簡単な指示に応じることはできるが、会話としての成立は難しい。文づくりでは、初めにリズムカルに絵本を読む。そこに出てくる素材を使って、主語を児童にした、3、4語文を示し、具体物を使って動作化しながら繰り返し復唱させる。活動を通して、表現意欲を高めながら文意識を育て、簡単な話ができる力を養うことができると考える。

Bグループは3年生1名、4年生3名、6年生1名の計5名で構成している。本グループの児童は、感想などを発表するときは、記憶の曖昧さや、単語の少なさから言いたいことが上手に話せないことが多い。そこで授業の中で、普段の学習や休み時間にした遊びなどを実際に行いながら言葉を見つけていく。話す内容を考える際の手掛かりとして、写真と「したこと」「どんなことをした(くわしく)」「どうだった(きもち)」を書くことができる欄を用意したワークシートを使う。単元を通し、日常の中で出てくる言葉への関心を高め、会話での表現力を豊かにできると考える。

Cグループは、4年生が1名、5年生が1名、6年生が3名の計5名で構成している。比較的語彙が多く1対1での会話は、積極的に話そうとする姿が見られる。その一方、スピーチなどの発表になると、思いついたことを羅列的に話していて、うまく話がまとまっていなかったり、同じパターンで一言しか話すことができなったりする実態がある。そこで、文の構成について、「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」ということを文節ごとに色分けした短冊を用いて話す順序や話したい内容の整理をする学習を行う。最後に写真を見て、自分の写真の様子や気持ちをわかりやすくまとめて話すことができると考える。

3 単元の目標

(全体目標)

- 身近な単語や言葉を豊かにする活動に参加することができる。(関心・意欲・態度)
- 自分が体験したことや感じたことを相手に話すことができる。(話す)
- 友達の話や発表を聞くことができる。(聞く)

(各グループの目標)

A グループ

- 表現活動を楽しみながら、語彙を豊かにする活動に参加することができる。(関心・意欲・態度)
- 文意識を高め、3、4語程度の文を復唱することができる。(話す)
- 落ち着いた態度で友達の話聞くことができる。(聞く)

B グループ

- 言葉集めに積極的に参加することができる。(関心・意欲・態度)
- 自分たちで見つけた言葉を使って話したり、教師と一緒に話しを考えたりすることができる。(話す)
- 友達の話に興味を持ち、聞くことができる。(聞く)

C グループ

- 掲示物や友達の発表から、いろいろな言葉で気持ちや様子を表すことができる。(関心・意欲・態度)
- 写真の様子やそのときの気持ちを、文の順序に気を付けて話すことができる。(話す)
- 話し手に注目して話を聞くことができる。(聞く)

4 指導計画 (11時間扱い)

第一次 話し方、聞き方の約束を決める。・・・・・・ 1時間

第二次 (グループ別学習) グループごとの話し方を学習する。・・・・・・ 9時間 (本時 8/11)

- (A) 歌ったりカードを使ったりして語彙を増やす。文づくりの活動をし、復唱する。
- (B) 言葉集めをし、集めた言葉をもとにお話しを発表する。
- (C) 話す順番や内容について学習し、写真の様子や気持ちに合った言葉を使って発表する。

第三次 グループ学習の発表を見合う。・・・・・・ 1時間

5 本單元における児童の実態

グループ名	あんぱんまんグループ (A)				ふなっしーグループ (B)					スライムグループ (C)				
児童名	A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児	H児	I児	J児	K児	L児	M児	N児
「話す」についての能力														
日常的に使う単語がだいたい分かる。	△	△	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
しりとり遊びができる。	×	×	▲	×	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
なぞなぞ遊びができる。	×	×	×	×	△	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
1 語文で話すことができる。 (例：わんわん、りんご)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 語文で話すことができる。 (例：ごはん たべる、コップ とって)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
助詞を使って2語文を使うことができる。 (例：ジュースをのみたい、そとであそぶ)	△	△	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
助詞を使って3語文を使うことができる。 (例：わたしはジュースをのみたい。)	×	△	×	×	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○
2文で話すことができる。 (例：おにごっこをしました。楽しかったです。)	△	△	△	×	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
3文で話すことができる。 (例：公園に行きました。ブランコをしました。楽しかったです。など)	×	×	×	×	△	×	△	△	○	△	○	○	○	○
声の大きさ、速さに気を付けて話すことができる。	×	×	×	×	▲	×	△	▲	△	○	△	▲	▲	○
「聞く」についての能力														
話をしている人の方に顔を向けて聞くことができる。	×	×	▲	×	▲	▲	△	△	○	○	×	×	×	○
友達の話最後まで聞くことができる。	×	×	×	×	▲	▲	△	△	○	○	△	×	×	○

参考文献

江口 季好 (1987) 『特別支援学級の学習指導計画案集』 同成社

評価の意味

○	よくできる
△	だいたいできる
▲	たまにできる
×	できない

6 本時の目標と展開

A グループ

(1) 本時の目標 (8/11)

- 表現活動を楽しみながら、語彙を豊かにする活動に参加することができる。(関心・意欲・態度)
- 文意識を高め、ひとまとまりの簡単な文を復唱することができる。(話す)
- 落ち着いた態度で友達の話聞くことができる。(聞く)

(2) 本時の個別目標及び手立て

学年・性別	児童の実態	本単元の個別目標	本時の個別目標	個別の支援
A 児	<p>○活動に対し、やる気があるが、落ち着きに欠け、気が散りやすく集中が持続しない。 (興・関)</p> <p>○平仮名は、読み書きできないものが多い。日常的な指示は大体理解できるが、語彙は少なく、会話は成立しにくい。また、分からないとごまかそうとする。(話す)</p> <p>○スピーチでは、きちんとした文で話すことが難しく、早口、大声、同じ内容の繰り返しとなることが多い。 (話す)</p> <p>○人の話をさえぎることが多い。(聞く)</p>	<p>○友達と一緒に表現活動を楽しみながら、最後まで学習活動に参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○歌やカードを使って語彙を増やすことができる。 簡単な文を最後まで落ち着いて復唱することができる。(話す)</p> <p>○教師や友達の話さえぎらず落ち着いて話を聞くことができる。 (聞く)</p>	<p>○最後まで友達と一緒に楽しく学習活動に参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○語彙を増やし、簡単な文を丁寧に復習することができる。 (話す)</p> <p>○落ち着いて教師や友達の話聞くことができる。(聞く)</p>	<p>○リズムカルな活動や動作化などで楽しく集中できるようにする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○活動の中で不意に指名したり、答えを求めたりする場を多く持つ。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○絵カードや具体物を用い、単語がわからないときは教え、丁寧に復唱できたことを称賛する。(話す)</p> <p>○友達の発言をさえぎる行為はその都度注意し、正せたことを評価する。(聞く)</p>
B 児	<p>○興味の幅が狭いことからマイペースである。文字に関心が高く、単語を並べて文にすることに興味を持ち始めている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○名詞は、比較的多く知</p>	<p>○友達と一緒に表現活動を楽しみながら、最後まで学習活動に参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○歌やカードを使って</p>	<p>○最後まで友達と一緒に楽しく学習活動に参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○助詞を使った簡単な</p>	<p>○リズムカルな活動や動作化などで楽しく集中できるようにする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○活動の中で度々名前を呼び、気持ちが離れにくくする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○早口になったり語尾</p>

	<p>っている。したことなどは、2文程度で話せるようになったが、助詞が抜け、早口になったり、語尾が強調されたりしやすい。(話す)</p> <p>○相手の話を聞くという意識は薄く、自分のことを一方的に話したり、相手の言葉を繰り返したりする。(聞く)</p>	<p>語彙を増やすことができる。簡単な文を最後まで落ち着いて復唱することができる。(話す)</p> <p>○教師や友達の話さえぎらず落ち着いて話を聞くことができる。(聞く)</p>	<p>文を正しく復習することができる。(話す)</p> <p>○友達の話聞く意識を持つことができる。(聞く)</p>	<p>が強調しすぎたりしないように、文節ごとにゆっくり復唱させる。様子を見てひとまとまりでも復唱させ、出来栄を評価する。(話す)</p> <p>○これから誰が話すか伝え、意識が向くようにする。(聞く)</p>
C児	<p>○簡単な指示はだいたい理解できるが、学習能力が低く、集中が持続しにくい。リズムのある活動は、好きである。(関心・意欲・態度)</p> <p>○記銘力が低く、平仮名は、半分ほどしか書きできない。知っている語彙も少なく、間違えて覚えているものも多い。(話す)</p> <p>○スピーチでは、支援すると2語文程度で話すが、助詞が抜ける。発音も不明瞭で声の大きさにもむらがある。相手意識を持って話すことは少ない。(話す)</p> <p>○話を聞く態度は比較的良好だが、理解できないことが多く飽きやすい。(聞く)</p>	<p>○友達と一緒に表現活動を楽しみながら、最後まで学習活動に参加できる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○歌やカードを使って語彙を増やすことができる。簡単な文を最後まで落ち着いて復唱することができる。(話す)</p> <p>○教師や友達の話さえぎらず落ち着いて話を聞くことができる。(聞く)</p>	<p>○最後まで友達と一緒に楽しく学習活動に参加できる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○語彙を増やし、簡単な文を発音や声の大きさに気を付けて復習することができる。(話す)</p> <p>○最後まで教師や友達の話聞くことができる。(聞く)</p>	<p>○リズムカルな活動や動作化などで楽しく集中できるようにする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○絵カードや具体物を用い、単語がわからなかったり、間違えて覚えていたりするときは教え、丁寧に復唱できたことを称賛する。(話す)</p> <p>○口形がわかるように正面から1文節ごとに手本を示し、出来栄を評価する。(話す)</p> <p>○これから誰が話すか伝え、意識が向くようにする。(聞く)</p>
D児	<p>○興味・関心に偏りがあり、能動的に一斉学習</p>	<p>○友達と一緒に表現活動を楽しみながら、最</p>	<p>○最後まで、友達と一緒に楽しく学習活動に</p>	<p>○お気に入りの絵本を教材に取り入れる。</p>

	<p>に参加することはほとんどないが、リズムのある活動にはやや興味を示す。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○こだわりがあるものの名前は詳しく、また、日常的に繰り返し聞く簡単な言葉は、聞き取ったり応じたりできるが、理解が確実な語は限られている。 (話す)</p> <p>○つぶやくように相手の言葉を繰り返す。語尾に、「ね。」をつけることが多い。(話す)</p> <p>○視線が合いにくく、人の話を聞こうとする意識は、ほとんどない。(聞く)</p>	<p>後まで学習活動に参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○歌やカードを使って語彙を増やすことができる。 簡単な文を最後まで落ち着いて復唱することができる。(話す)</p> <p>○教師や友達の話さえざらざら落ちて話を聞くことができる。(聞く)</p>	<p>参加できる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○語彙を増やし、簡単な文を最後まで復習することができる。 (話す)</p> <p>○離席せず、友達の話聞くことができる。(聞く)</p>	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>○体に手を添えたり、絵カードを目の前に示したりして、活動に参加している意識を高める。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○助詞や語尾を強調して、1文節ごとに耳元で伝えて復唱させる。指示に応じて話すことができたことを評価する。(話す)</p> <p>○意識が離れないように度々名前を呼び、聞こうとする意識を持てるようにする。(聞く)</p>
--	---	---	--	---

(3) 本時の展開 (11時間扱いの8時間目)

主な学習内容と活動	支援や指導の手立て (◇は評価)	教材・教具
<p>1 「あいうえお うた」を歌う。 (3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までを振り返る。 ・歌詞に合った絵単語カードを見ながら歌う。 	<p>○歌詞に合った絵単語カードを示し、絵と文字と音を結び付けやすくする。</p> <p>○同じ歌詞を繰り返すことで、理解が深まるようにする。</p> <p>○声の大きさやリズムにこだわらず、個々の自由なスタイルで歌に参加できればよしとする。</p> <p>◇絵単語カードを確認しながら、歌うことができたか。</p>	<p>絵・文字カード</p>
<p>2 名前当てクイズをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを見て答える。 ・全員→個人→全員で復唱する。 	<p>○絵カードをフラッシュカードのように見せながら、全員に答えを求め、復唱させる。次に、個人を指名し、どの程度言えるか確認する。最後に再度全員で復唱させる。</p> <p>○分からなかったり正しく言えなかったりしたら教え、はっきりと復唱させる。</p>	<p>絵カード</p>

<p>3 本時の学習内容を知る。</p>	<p>○友達の指名のときに言わない約束を確認する。 ◇ものの名前を憶えることができたか。 ◇積極的に活動に参加しているか。</p>	
<p>したことを はなそう。</p>		
<p>4 文づくりの活動をする。</p> <p>①わっちゃん わがつく わたがし かって ・わたしは、(おおきい) わたがしを かいしました。 ・〇〇ちゃんは (おおきい) わたがしを かいしました。</p> <p>②るっちゃん るがつく カレーの ルウ ・ぼくは、 カレーの ルウを (1はこ) かいしました。 ・〇〇ちゃんが カレーの ルウを (1はこ) かいしました。</p> <p>③りっちゃん りがつく りんごの うさぎ ・わたしは、(あかい) りんごを かいしました。 ・〇〇ちゃんが (あかい) りんごを かいしました。</p> <p>①絵本のフレーズをリズムカルに復唱する。 ②動作をつけながら短文を復唱する。(個人) ・ぼくは、～をかいしました。 ③カードを見ながら短文を復唱する。(全員) ・〇〇ちゃんは、～を かいしました。</p>	<p>○絵本の本文は、リズムカルに楽しく読む。絵を手掛かりに教具をイメージしやすくする。 ○話を聞くときの約束を確認する。 ○意味がよく分かるように、模擬銭を使って一人ずつ動作化し、自分を主語にした文「ぼくは、～をかいしました。」を友達の前で話させる。 ○実態を見ながら、4語文、または2文にも挑戦させる。文はゆっくり、はっきりと示す。 ○早口や大声にならないように肩に手を添え、文節ごとに示す。上手に言えたら、1文通して言わせてみる。出来栄を称賛する。(A児・B児) ○顔の正面で口元をしっかりと見せ、手本になる声の大きさや速さ、で支援する。文節ごとに示し、様子を見て1文を通して言わせてみる。声の大きさや速さ発音などを意識して復唱できたら、出来栄を称賛する。(C児) ○1文節ずつを耳元で伝え、復唱させる。助詞や語尾が正確ではなくても、指示に応じて話せたら称賛する。(D児) ○グループの児童の写真、具体物、動詞カードを掲示し、友達を主語にした短文「〇〇ちゃんは、～をかいしました。」をみんなで復唱させる。 ◇声の大きさや速さを意識して、ひとまとまりの簡単な文を復唱することができたか。 ○友達の発表中にさえぎる発言があったら、その都度指導し、落ち着いて学習が進むように配慮する。 ◇友達の発表を落ち着いて聞くことができたか。</p>	<p>「あっちゃんあがつく」の絵本 児童の顔写真 絵カード 動詞カード 模擬銭 綿菓子・カレーのルウ・りんごの具体物</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>○楽しかったか、したことを上手に話せたかを尋ね達成感を感じることができるよう言葉かけをする。 ◇最後まで楽しく活動することができたか。</p>	

B グループ

(1) 本時の目標 (8 / 11)

- 活動に楽しんで参加し、言葉集めをすることができる。(関心・意欲・態度)
- 自分で見つけた言葉や「言葉の宝箱」を使って話をするすることができる。(話す)
- 友達の発表を最後まで聞こうとすることができる。(聞く)

(2) 本時の個別目標及び手立て

学年・性別	児童の実態	本単元の個別目標	本時の目標	個別の支援
E 児	<p>○語彙の少なさから、話し手の伝えている内容をすべて理解するのが難しいことがある。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○感想やその日の出来事を言うときは2文程度で話することができる。 (話す)</p> <p>○興味のある話や自分に関することであれば話し手の方を向いて聞けるが、それ以外の話では下を向いたり、机をいじったりすることがある。(聞く)</p>	<p>○毎回の活動に楽しんで参加し、教師や友達の言葉をヒントに、新しい言葉を見つけることができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○見つけた言葉を使って話をしたり、教師と一緒に話す内容を考えたりすることができる。(話す)</p> <p>○友達を意識して話を聞こうとすることができる。(聞く)</p>	<p>○落ち葉遊びに楽しんで参加し、教師と一緒に言葉を見つけることができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○教師と一緒に話す内容を考え、話することができる。(話す)</p> <p>○友達が話しているときに、顔を上げて話を聞くことができる。 (聞く)</p>	<p>○言葉が見つからないときには、動作化をして聞いたり、反対言葉を言って聞いたりする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○話す内容のイメージが持てるように写真付きのワークシートや穴埋め形式の型紙を用意する。(話す)</p> <p>○事前にどのくらいの声の大きさを確認する。声が小さすぎるときには再度確認する。(話す)</p> <p>○話し手の方をしっかりと向いて聞けるように、掲示物を使い意識を促す。(聞く)</p>
F 児	<p>○興味、関心の幅の狭さからクラスの友達と一緒に関わったり、授業に積極的に参加したりすることが少ない。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○感想やその日の出来事を言うときは、助詞を使いながら2、3文程度で話すること</p>	<p>○毎回の活動に楽しんで参加し、教師や友達の言葉をヒントに、新しい言葉を見つけることができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○見つけた言葉を使って話をしたり、教師と一緒に話す内容を考えたりすることがで</p>	<p>○落ち葉遊びに楽しんで参加し、教師と一緒に言葉を見つけることができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○教師と一緒に話す内容を考え、話することができる。(話す)</p>	<p>○言葉が見つからないときには、動作化をして聞いたり、反対言葉を言って聞いたりする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○話す内容のイメージが持てるように写真付きのワークシートや穴埋め形式の型紙</p>

	<p>ができる。(話す)</p> <p>○大勢の前で話すときは、緊張から吃音が出てしまったり、言葉に詰まったりすることがある。(話す)</p> <p>○学習中でも下を向くことが多く、注意を促してもすぐに下を向いてしまい、話を聞いていないことが多い。(聞く)</p>	<p>きる。(話す)</p> <p>○友達を意識して話を聞こうとすることができる。(聞く)</p>		<p>を用意する。(話す)</p> <p>○言葉に詰まるときは後ろに立ち、文節を言う。(話す)</p> <p>○話し手の方をしっかりと向いて聞けるように、掲示物を使い意識を促す。(聞く)</p>
G 児	<p>○ほとんどの活動には楽しんで参加することができるが、苦手なことに対しては学習意欲が低く机に伏せてしまうことが多い。(関心・意欲・態度)</p> <p>○スピーチなど2、3文程度で話ができるものの、改まった場になると恥ずかしさから話すことをためらうことがある。(話す)</p> <p>○語彙の少なさや記憶力の低さから、相手の話を理解することが難しく、聞くことに対しあまり積極的ではない。(聞く)</p>	<p>○毎回の活動に積極的に参加し、自分から新しい言葉を見つけることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○見つけた言葉を使って話の内容を考え、適切な声の大きさ、速さを意識して話することができる。(話す)</p> <p>○話し手の方を最後まで向いて話を聞き、話していた内容を発表したり、簡単な感想を言ったりすることができる。(聞く)</p>	<p>○落ち葉遊びに楽しんで参加し、新しい言葉を見つけることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○言葉の宝箱や自分で見つけた言葉を使って話す内容を考え、声の大きさに気を付けて話することができる。(話す)</p> <p>○話し手の方を向いて話を聞き、話していた内容を発表したり、感想を言ったりすることができる。(聞く)</p>	<p>○言葉が見つからないときには、動作化をして聞いたり、単語の1、2文字目をヒントとして言ったりする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○話す内容のイメージが持てるように写真付きのワークシートを用意する。(話す)</p> <p>○事前にどのくらいの声の大きさを喋るのかを確認する。声が小さすぎるときには再度確認する。(話す)</p> <p>○言葉が出ないときは後ろに立ち、文節を言う。(話す)</p> <p>○発表した内容を、自分から発表できたときには、大いに称賛する。(聞く)</p>
H 児	<p>○友達に対し優しく接することができるが、活動や外遊びにも積極的に参加している。</p>	<p>○毎回の活動に積極的に参加し、自分から新しい言葉を見つけることができる。</p>	<p>○落ち葉遊びに楽しんで参加し、新しい言葉を見つけることができる。</p>	<p>○言葉が見つからないときには、動作化をして聞いたり、単語の1、2文字目をヒント</p>

	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>○慣れない相手に対しては、なかなか言葉が出ず、会話することが難しいときがある。慣れた人の前では、冗談を言ったり、大きな声で話したりすることができる。(話す)</p> <p>○改まった場では、恥ずかしさから声が大きくなり過ぎたり、早口になったりする。(話す)</p> <p>○基本的にはよく話を聞いているが、自分から積極的に発表することに少し抵抗がある。(聞く)</p>	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>○見つけた言葉を使って話の内容を考え、適切な声の大きさ、速さを意識し話することができる。(話す)</p> <p>○話し手の方を最後まで向いて話を聞き、話していた内容を発表したり、簡単な感想を言ったりすることができる。(聞く)</p>	<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>○言葉の宝箱や自分で見つけた言葉を使って話す内容を考え、声の大きさに気を付けて話することができる。(話す)</p> <p>○話し手の方を向いて話を聞き、話していた内容を発表したり、感想を言ったりすることができる。(聞く)</p>	<p>として言ったりする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○話す内容のイメージが持てるように写真付きのワークシートを用意する。(話す)</p> <p>○事前にどのくらいの声の大きさを喋ったり、速さを喋ったりするのかを確認する。声が大きすぎたり、速すぎたりするときには再度確認する。(話す)</p> <p>○話していた内容を、自分から発表できたときには、大いに称賛する。(聞く)</p>
I児	<p>○自分から発言をするということが少なく、わからないことがあっても黙っていることが多く、教師が問いかけて聞くことが多い。(関心・意欲・態度)</p> <p>○話すことに関しては、決められた内容や人が少ない場であれば話することができる。ただし、声が小さかったり、言葉が出るまでに時間がかかったりすることが多い。(話す)</p> <p>○話を聞く時は、背筋を伸ばし話し手の方を集中して見ることができる。(聞く)</p>	<p>○毎回の活動に積極的に参加し、自分から新しい言葉を見つけることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○見つけた言葉を使って、自分で考えた話の内容を友達や教師に伝えることができる。(話す)</p> <p>○話し手の方を向いて話を聞き、話していた内容を発表したり、簡単な感想を言ったりすることができる。(聞く)</p>	<p>○落ち葉遊び楽しんで参加し、新しい言葉を見つけることができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○言葉の宝箱や自分で見つけた言葉を使って話す内容を考え、話することができる。(話す)</p> <p>○友達の話最後まで聞き、簡単な感想を言うことができる。(聞く)</p>	<p>○言葉が見つからないときには、動作化をして聞いたり、単語の1、2文字目をヒントとして言ったりする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○話す内容のイメージが持てるように写真付きのワークシートを用意する。(話す)</p> <p>○言葉が出ないときは後ろに立ち、文節を言う。(話す)</p> <p>○話していた内容を、自分から発表できたときには、大いに称賛する。(聞く)</p>

(3) 本時の展開 (11時間扱いの8時間目)

主な学習内容と活動	支援や指導の手立て (◇は評価)	教材・教具
1 前時までの学習内容を振り返る。 2 本時の学習内容を知る。	○前時で発表した内容やしたことを振り返り、授業の見通しを持たせる	
おちばあそびの おはなしをしよう		
3 落ち葉やドングリなどに触れ、言葉集めをする。 児童から予想される言葉 「あかい」「ぱりぱり」「やわらかい」「おおきい」など	○今まで集めてきた言葉のストック(言葉の宝箱)を見せ、言葉集めに対する学習意欲を促す。 ○児童から言葉が出てくるように言葉かけをする。 ◇活動を通して、積極的に言葉探しをすることができる。	落ち葉 ドングリ 言葉の宝箱 (今まで言葉を集めストックしたもの)
4 ワークシートに話す内容を書く。	○話す内容をイメージしやすいように、話す内容にあった写真を用意し、ワークシートに写真を貼り付けておく。 ○話す内容が決まらない児童には、「言葉の宝箱」を使うように指示したり、話の内容の見通しが持てるように穴埋め形式の型紙を用意したりする。(E児、F児)	ワークシート 穴埋め形式の型紙
5 自分のお話の発表をする。 (1) 1人ずつ順番に発表する。 (2) 1人終わるごとに、感想や話していた内容を確認する。	○見通しが持てるように発表する順番を決める。 ○話すとき、聞くときの約束が視覚的に捉えられるように絵を挿入した掲示物を使い確認する。 ○言葉に詰まるときは、後ろに立ち、文節を言う。(E児・F児・I児) ○事前に声の大きさを確認し、ちょうどよい声の大きさを話せるように意識を持たせる。(E児・G児・H児・I児) ◇声の大きさ、速さに注意して話している。 ◇言葉の宝箱や見つけた言葉を使って話することができる。 ◇友達の発表を最後まで聞こうとすることができる。	約束を書いた掲示物
6 本時の振り返りをする。 ・友達の良かったところや、良かった言葉を見つける。	○友達の良かった言葉、姿勢などを聞き、次時への意欲を促す。	

C グループ

(1) 本時の目標 (8 / 11)

- 掲示物や友だちの発表から、気持ちや様子を表す言葉の語彙を増やすことができる。(関心・意欲・態度)
- 写真の様子やそのときの気持ちを、文の順序に気を付けて話すことができる。(話す)
- 話し手に注目して話を聞くことができる。(聞く)

(2) 本時の個別目標及び手立て

学年・性別	児童の実態	本単元の個別目標	本時の個別目標	個別の支援
J 児	<p>○ 活動に積極的に参加することができる。 自発的に感想などを話すことができるが、気持ちや様子を表す言葉が少ない。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 発表のパターンが単調で詳しく話すことが難しい。(話す)</p> <p>○ 話し手に注目して話を聞こうとしている。 (聞く)</p>	<p>○ 発表を通して、いろいろな言葉を使って様子や気持ちを話すことができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、話す順番に気を付けながら話すことができる。 (話す)</p> <p>○ 友達の発表を聞いてよいところを見つけることができる。 (聞く)</p>	<p>○ 写真の様子やそのときの気持ちに合った言葉を使って話すことができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 写真の様子や気持ちを4語文程度の文で、話す順番に気を付けて話すことができる。(話す)</p> <p>○ 友達の発表を聞いてよいところを見つけることができる。 (聞く)</p>	<p>○ 写真に合った言葉を見つけられるように様子や場面について声かけを行う。またヒントとなる掲示物から言葉を選べるようにする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 順番シートに短冊を並べて必要な項目が抜けていないか、正しい順番になっているか確認して発表できるようにする。 (話す)</p> <p>○ 友達の発表の内容を項目ごとに確認し、どんなことをしていたか、どんな気持ちになっていたか気付けるようにする。 (聞く)</p>
K 児	<p>○ 集中力が持続せず、活動のルールが分かっているなかったり、発言しようとする意識が低かったりする。気持ちや様子を表す言葉が少ない。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 話が羅列的で、順序や内容がまとまらないことがある。 (話す)</p>	<p>○ 発表を通して、いろいろな言葉を使って様子や気持ちを話すことができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、話す順番に気を付けながら話すことができる。</p>	<p>○ 写真の様子やそのときの気持ちに合った言葉を使って話すことができる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 写真の様子や気持ちを4語文程度の文で、順序に気を付けて話すことができる。(話す)</p>	<p>○ 写真に合った言葉を見つけられるように様子や場面について声かけを行う。また掲示物からヒントになる言葉を選べるようにする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 順番シートに短冊を並べて必要な項目が抜けていないか、正しい順番になっているか確認して発表できるようにする。</p>

	<p>○話している人に関心が向かず、下を向いたり手遊びをしていたりしていることが多い。(聞く)</p>	<p>(話す)</p> <p>○話し手に注目して最後まで話を聞くことができる。(聞く)</p>	<p>○話し手に注目し最後まで話を聞こうとすることができる。(聞く)</p>	<p>(話す)</p> <p>○「聞き方かきくけこ」の確認を行い、聞く態度の意識を高める。(聞く)</p>
L児	<p>○積極的に活動に参加できるが人前に出て、自分の意見を述べたり、発表したりすることが苦手である。語彙は多いが、様子や気持ちを分かりやすく話すことは難しい。(関心・意欲・態度)</p> <p>○スピーチなどの発表で、できごとや気持ちを話すことが苦手で一言で終わることが多い。(話す)</p> <p>○話を最後まで聞けず、手遊びをしたり机に伏せたりしていることが多い。(聞く)</p>	<p>○発表を通して、写真の様子や気持ちが伝わるように分かりやすく話すことができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、様子や気持ちを詳しく話そうとすることができる。(話す)</p> <p>○話を聞く姿勢を意識して、最後まで話を聞くことができる。(聞く)</p>	<p>○写真の様子やそのときの気持ちに合った言葉を使って話すことができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、写真の様子や気持ちを整理して話すことができる。(話す)</p> <p>○話し手に注目し最後まで話を聞こうとすることができる。(聞く)</p>	<p>○友達の発表を振り返ったり、掲示物から選んだりして様子や気持ちを表す言葉を書けるようにする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○文を作る抵抗感をなくすために、短冊ごとに1語ずつ書くこと、書ける短冊から書いていけるようにする。(話す)</p> <p>○「聞き方かきくけこ」の確認を行い、聞く態度の意識を高める。(聞く)</p>
M児	<p>○積極的に活動に参加できるがスピーチなどの改まった場での発表は苦手で消極的である。語彙は多いが、様子や気持ちに合わせて分かりやすく話すことは難しい。(関心・意欲・態度)</p> <p>○スピーチなどの発表で、話す内容をまとめるのが苦手で、一言で終わることが多い。(話す)</p>	<p>○発表を通して、いろいろな言葉で写真の様子や気持ちを積極的に発表しようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、様子や気持ちを詳しく話そうとすることができる。(話す)</p>	<p>○写真の様子やそのときの気持ちに合った言葉を使って話すことができる。(関心・意欲・態度)</p> <p>○「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の項目を入れて、写真の様子や気持ちを話すことができる。(話す)</p>	<p>○友達の発表を振り返ったり掲示物から選んだりして様子や気持ちを表す言葉を書けるようにする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○順番シートを使って、話すことの内容が抜けていないか確認できるようにする。(話す)</p>

	○話し途中で口をはさむことや手遊びをすることが多い。 (聞く)	○話を聞く姿勢を意識して、最後まで話を聞こうとすることができる。(聞く)	○話し手に注目し最後まで話を聞こうとすることができる。(聞く)	○「聞き方かきくけこ」の確認を行い、聞く態度の意識を高める。(聞く)
N児	○積極的に活動に参加することができる。 語彙は多いが、様子や気持ちに合わせて分かりやすく話すことは難しい。 (関心・意欲・態度) ○話したいことが多く、話す順番や内容をうまくまとめられずに、羅列的に話することが多い。 (話す) ○話し手に注目して話を聞くことができる。(聞く)	○自分の気持ちや写真などの様子に合う言葉を選んで詳しく話すことができる。 (関心・意欲・態度) ○「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」の順番で様子や気持ちを詳しく話そうとすることができる。(話す) ○友達の発表を聞いてよいところを見つけることができる。(聞く)	○写真の様子やそのときの気持ちに合った言葉を使って話すことができる。 (関心・意欲・態度) ○文の順序に気を付けて、写真の様子や気持ちを詳しく話すことができる。(話す) ○友達の発表を聞いてよいところを見つけることができる。(聞く)	○写真の様子や気持ちにぴったりの言葉や一番伝えたいことは何か確認しながら話したい内容をまとめられるようにする。 (関心・意欲・態度) ○順番シートに短冊を並べて必要な項目が抜けていないか、正しい順番になっているか確認して発表できるようにする。(話す) ○友達の発表の内容を項目ごとに確認し、どんなことをしていたか、どんな気持ちになっていたか気付けるようにする。(聞く)

(3) 本時の展開 (1 1時間扱いの8時間目)

主な学習内容と活動	支援や指導の手立て (◇は評価)	教材・教具
1 前時の学習を振り返る。 ・「いつ・だれが・どこで・どうした・どうだった」を表す言葉を入れること、この順番に整理して話すことを確認する。 2 本時の学習内容を知る。	○文節短冊を提示して前時の学習を想起させる。 ◇話す内容と順序が分かる。	前時で用いた短冊
順番に気を付けて話をしよう。		
3 写真を見てできごとや様子、気持ちなどを、項目ごとに短冊に書く。 ・いつ 昼休みに 掃除時間に	○いろいろな場面の写真を見せて、できごとが想起しやすいようにする。 ○短冊ごとに書ける言葉から書いていくことで文を作る抵抗感をなくす。 ○順番シートで話す内容を確認しながら短冊を書くことで、必要な言葉が抜けないようにす	写真 順番シート 短冊 「言葉の木」

<p>・だれが <input type="text" value="私は"/> <input type="text" value="〇〇くんが"/></p> <p>・どこで <input type="text" value="ひょうたん山で"/> <input type="text" value="教室で"/></p> <p>・どうした <input type="text" value="遊びました。"/> <input type="text" value="雑巾がけをしました。"/></p> <p>・どうだった <input type="text" value="楽しかったです。"/> <input type="text" value="きれいになりました。"/></p> <p>4 作った文を発表する。 ・1人ずつ作った文を発表する。 ㊤ 昼休みに 私は ひょうたん山で 遊びました。 楽しかったです。 ㊦ 掃除の時間に ぼくは 教室の 雑巾がけをしました。 ぴかぴかになり気持ちがよいです。</p> <p>5 友達の発表を聞いてよかったところを発表する。</p> <p>6 本時の振り返りをする。 ・順序よく話すと分かりやすい。 ・詳しく話すと伝わりやすい。</p>	<p>る。</p> <p>○様子や気持ちを表す言葉が浮かばないでいたり、同じ言葉ばかりになっていたりするときには「言葉の木」から、自分の気持ちに合う言葉を選ぶように声かけをする。</p> <p>◇項目ごとに、短冊に言葉を正しく書けている。</p> <p>○話し方や聞き方の態度やルールについて、声かけを行う。</p> <p>○順番シートに短冊を並べることで、文の順番を確認しながら発表できるようにする。</p> <p>◇短冊に書いた言葉を正しい順番で発表することができる。</p> <p>◇声の大きさや速さ、姿勢に気を付けて発表しようとしている。</p> <p>◇話し手に注目して話を聞いている。</p> <p>○「言葉の葉っぱ」に、友達の発表で出た言葉を書き、言葉の木に掲示する。</p> <p>○どんなところに気を付けて話すことが大切か意見を出せるように、児童一人一人の発表の良かった点を伝える。</p>	<p>「聞き方がきくけこ」 「話し方あいうえお」</p> <p>「言葉の葉っぱ」</p>
---	--	---